

Europe Indicators

発表日:2022年1月25日(火)

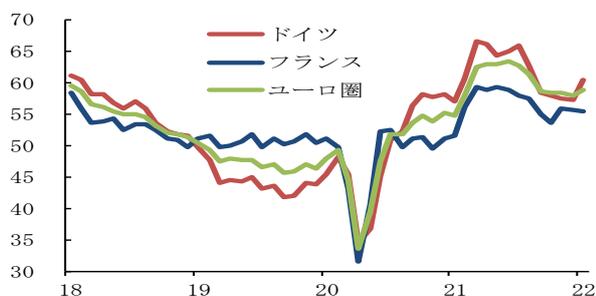
欧州経済指標コメント:1月ユーロ圏PMI速報

～感染再拡大も経済活動は底堅い～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

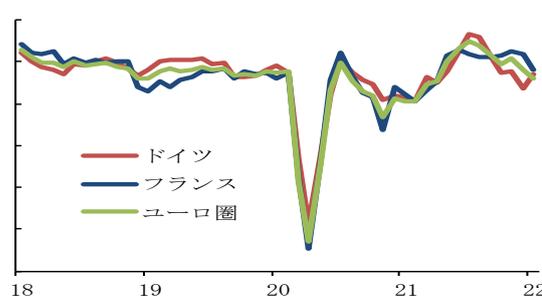
- 24日に発表された1月のユーロ圏総合PMI速報値は52.4と前月から0.9ポイント低下。昨年3月以来、好不況の分岐点である50を上回っているが、過去6ヶ月のうち5ヶ月で前月から改善モメンタムが鈍化。総合PMIを構成する2項目の内訳は、製造業の産出指数（製造業PMIの構成項目の1つ）が前月：53.8→今月：55.8と改善モメンタムが大幅に加速した一方、サービス業活動指数（サービス業PMI）が53.1→51.2に低下し、全体の計数を押し下げた。
- 製造業PMIの内訳は、生産（53.8→55.8）、新規受注（55.0→56.9）、雇用（55.3→57.5）が改善を主導。低空飛行が続いていた入荷遅延（25.3→26.6）が改善、中間財在庫（57.3→54.4）も低下に転じ、供給制約の影響が僅かに緩和していることが伺える。製造業の改善加速を主導したのはドイツ（57.4→60.5）で、5ヶ月振りに60台に乗せた。サービス業はドイツ（48.7→52.2）が50超に復帰した一方で、フランス（57.0→53.1）とその他ユーロ圏に急ブレーキが掛かった。
- 価格関連では、昨年10月に今次ピーク（90.2）をつけた後、製造業の投入物価（87.0→83.4）が高水準ながら3ヶ月連続で上昇が鈍化。産出物価（70.0→72.9）が再加速し、今次サイクルでは昨年11月（74.3）に次ぐ高水準。サービス業の投入物価（69.3→70.4）と産出物価（57.2→58.0）も揃って上昇が加速。投入物価は昨年11月の今次ピーク（70.9）に次ぐ水準で、産出物価は今サイクルのピークを更新した。価格上昇の動きが徐々に川下に波及しつつある。

■ユーロ圏：製造業PMI



出所：IHS Markit

■ユーロ圏：サービス業PMI



出所：IHS Markit

■購買担当者指数（PMI、季節調整済み）

	2021				2021												2022
	1Q	2Q	3Q	4Q	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月			
ユーロ圏 総合産出指数	49.9	56.8	58.4	54.3	53.8	57.1	59.5	60.2	59.0	56.2	54.2	55.4	53.3	52.4			
製造業購買担当者指数	58.4	63.1	60.9	58.2	62.9	63.1	63.4	62.8	61.4	58.6	58.3	58.4	58.0	59.0			
サービス業況指数	46.9	54.7	58.4	54.5	50.5	55.2	58.3	59.8	59.0	56.4	54.6	55.9	53.1	51.2			
ドイツ 総合産出指数	53.1	57.4	59.3	51.4	55.8	56.2	60.1	62.4	60.0	55.5	52.0	52.2	49.9	54.3			
製造業購買担当者指数	61.5	65.2	62.3	57.5	66.2	64.4	65.1	65.9	62.6	58.4	57.8	57.4	57.4	60.5			
サービス業況指数	48.0	53.4	59.6	51.2	49.9	52.8	57.5	61.8	60.8	56.2	52.4	52.7	48.7	52.2			
フランス 総合産出指数	48.2	55.3	55.9	55.5	51.6	57.0	57.4	56.6	55.9	55.3	54.7	56.1	55.8	52.7			
製造業購買担当者指数	55.7	59.1	56.9	55.0	58.9	59.4	59.0	58.0	57.5	55.0	53.6	55.9	55.6	55.5			
サービス業況指数	47.0	54.9	56.4	57.0	50.3	56.6	57.8	56.8	56.3	56.2	56.6	57.4	57.0	53.1			

出所：IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

